

## 特定非営利活動に関する外部評価の評価項目について

評価対象法人	特定非営利活動法人花山星空ネットワーク
評価者氏名(職名)	太田耕司 (京都大学大学院理学研究科教授)
評価対象期間(年度)	平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

### 1 法人の事業活動, 組織運営等に関する状況

#### (1) 事業活動について

ア 事業計画等を策定しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
各事業年度の事業計画は, 組織的な合意形成(総会・理事会等)に沿って策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法人の目的を達成するための中長期的計画を策定しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 法人の目的を達成するための基幹となる事業を実施しているか。

法人自己評価		外部評価	
はい	いいえ	はい	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→ 法人自己評価及び外部評価が「はい」の場合, 基幹となる事業のうち優先順位の高いものから順に3件程度記入。

項目	法人全体の労力に占める事業に割く労力の割合*
事業名 天体観望会事業	35%
事業名 天体観測体験教室事業	25%
事業名 天文科学振興の為の講演会事業	10%

※ 例) 総従事時間数に占める各事業の従事時間数の割合

#### (2) 組織運営について

ア 定款に定める権能に基づき, 総会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

イ 【定款で理事会の設置を定めている場合】定款に定める権能に基づき, 理事会で審議・意思決定が行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
定款に定める正当な招集者の範囲や方法で招集し, 議案書に基づき審議を行う体制となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
定款で定められた内容を審議事項として審議しているか。また, 総会の審議事項との区分は明確か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
決議や議事録署名人の選任, 議事録の作成について定款に定める方法で行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ウ 監事による監査は適正に行われているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
監事はその法人における特別な立場を理解し、第三者性及び公正性が確保されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は法人の理事や職員を兼務していないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
監事は定款に定める職務を執行しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
予算・決算書の作成者が、監査まで行っていないか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 情報公開について

法人に関する情報を公開しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
活動の状況や法人運営に係る情報をホームページ等の情報開示ツールで発信しているか。また、適時に更新しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動の報告等を会報誌等で情報発信しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
法定の閲覧書類（事業報告書等、役員名簿、定款等）はいつでも閲覧できる状態か。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業報告書等の記載内容は、外部に対して理解してもらえるように工夫※して作成されているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※例：概要の記載や、写真やデータなどを用いたレイアウト等、読み手に対して内容を分かりやすく伝える工夫

(4) コンプライアンス（法令遵守等）について

コンプライアンス（法令遵守等）の観点から組織として取組を推進しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
事業・活動に関連する法令※を把握し、遵守しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重要な事項や個人情報を含むデータ・書類等のリスクマネジメントを行っているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※対象となる法令：特定非営利活動促進法、登記に関する法令（組合等登記令）、税に関する法令（法人税法等）、労務に関する法令（労働基準法等）、事業ごとに適用される法令（例：介護保険制度に基づくサービス提供←介護保険法の適用）など

(5) 外部評価について

活動内容を評価し、改善する仕組みを有しているか。

項目	法人自己評価		外部評価	
	はい	いいえ	はい	いいえ
これ以前に外部評価を受けたことがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
外部評価を受けた結果を、理事会等で審議する機会を設ける等、改善する機能を有しているか。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

## 2 法人の事業活動に関する所見

※ 活動の意義・成果等、広く社会に対して活動の成果を発信しているか、地域団体等の他団体との連携の状況など

### (1) 活動の意義

この法人が現在最も力を注いでいる基幹事業は、(イ) 天体観望会事業、(ロ) 天体観測体験教室事業、(ハ) 天文科学振興の為の講演会事業である。この三事業共、定款の趣旨をよく実践している。また、これら事業への参加者も多く、社会貢献度の高いものであると判断される。

### (2) 社会への発信状況

上記の事業の実施に当たっては、会員だけではなくホームページや新聞紙上などで広く一般市民にイベント開催情報を発信しているため、その結果、どのイベントにおいても、会員以外の市民と青少年の参加が大半を占めている。

事業の認知度は年々市民の間に広がりを見せており、宇宙科学・自然科学に親しむ場として、多くの市民や青少年の参加が得られてきていると判断される。

### (3) 地域団体との連携の状況

「第8回こども飛騨天文台天体観測教室」に京都市教育委員会および京都府教育委員会の後援を受け、また逆に宇宙落語制作委員会の「第3回宇宙落語会」を後援するなど、26年度においても、他団体と積極的に連携している様子がうかがえる。また、法人会員募集ポスターを製作するに当たり、京都芸術デザイン専門学校に依頼して、学生の卒業研究の一つとして製作された作品を採用したり、第50回花山天体観望会「名月と名曲」において、京大の学生邦楽演奏クラブである「叡風会」に天文台屋上での演奏を依頼するなど、大学や専門学校学生との交流を意欲的に行なったことも評価できる。

### (4) その他所感

全体的に非常に非常に活発に事業を展開しており、今後の活動も期待される。一層の発展を願って、若干の所感を記載すると、中長期的計画のより一層の具体案の検討をされては如何か、また千年街道事業はもう少し参加者を増やす工夫はできないものか、という感想を持った。

## 3 法人の組織運営に関する所見

※ 財務管理の透明性、組織体制の状況など

### (1) 財務管理の透明性

第8回通常総会で承認された26年度の事業報告書、会計収支計算書、財産目録、貸借対照表がホームページ上に公開されており、透明性が保たれている。

### (2) 組織体制の状況

#### (イ) 理事会の開催について

平成26年度には、第29回(26年4月8日(火))及び、第30回(26年12月17日(水))と、2回の理事会が開催され、議事録も作成されており、理事会は正常に機能しているといえる。

#### (ロ) 総会の開催について

平成26年度には、第7回通常総会(26年5月11日(日))が、書面表決者を含む過半数の正会員が出席して開催され、理事会提案の3議案が承認可決されている。正式な書式に従った議事録も作成されている。

#### (ハ) 監事による監査について

通常総会に先立って、2名の監事が会計収支および財産管理に関する監査を実施した上で、その結果を総会で報告している。

## 《評価対象法人記入欄》

### 4 外部評価結果への対応状況

外部評価により提言・指摘等を受けた事項に対する対応状況（今後対応する場合は対応予定）

提言・指摘等を受けた事項	対応状況又は対応予定
より具体的な中長期的計画の検討	青少年の理科教育に貢献するために (1) 小中高校理科教員を対象にした講習会 「小望遠鏡を用いた天体観測実習」を定期的に開催することを計画している。 市民の生涯学習に貢献するために、 (2) 熱心な会員を中心とした「太陽黒点・フレア一観測ネットワーク」の構築を計画している。
「千年街道事業」の参加者を増やす工夫	(1) リピーターを増やすために、新しいコースの開発を進めている。 (2) リピーターを増やすために、その時々でホットな天文学の話題を取り上げて、わかり易く解説する「アストロトーク」を、京都大学博物館で開催している。

### 備考（審査委員会のコメント）

天体観測事業に加えて、天文学と京都の歴史を結びつけた天文ツアーの参加者の拡大を検討するとともに、条例指定・認定による税制上の優遇措置のメリットを活かし、長期的な展望の下、活動基盤の強化を図っていく継続的な取組を期待する。